

## 成蹊学園史料館

山中 一弘

小学校から大学までを擁する成蹊学園（武蔵野市吉祥寺北町3丁目）。その美しいキャンパスの正門脇に、「成蹊学園史料館」がある。

同史料館は、多くの同業者から羨望の眼差しを集める、一戸建ての独立した施設である。大学アーカイブスが独立した建物を持っている例は現在でも稀だが、この史料館は一九八八（昭和六三）年と、ごく早い時期に開館している。

### 目的

成蹊学園は一九一二（明治四五）年、中村春二によって池袋（西口付近）に創設された。また中村の事業に賛同して援助を惜しまなかった今村銀行の跡継ぎ今村繁三、三菱財閥の後継者岩崎小弥太の両人も、学園を創設した人々として顕彰されている。

学園草創期は、いわゆる「大正自由教育」と呼ばれる新教育運動が各地で勃興した時期で、成蹊学園もその中で重要な役割を担っていた。

「史料館」は、そうした学園の歴史と中村春二の教育の理念を明らかにし、「建学の精神の高揚とその継承を図り、学園の発展ならびに学生、生徒及び児童の教育の進展に寄与すること」を目的に掲げている。さらにそれと並んで、近代日本という背景の中での教育関係史資料の展示を通じて、来館者に日本の教育の歴史を理解してもらい、広く地域社会の文化の発展に寄与することをも企図している。

施設は鉄筋コンクリート地上2階、建築面積六四六・三四㎡、延床面積一一七九・九二㎡で、中村春二記念室のほか、三つの展示室、事務室、談話室、ギャラリ、収蔵庫、研究員室・資料整理室、史料室、五〇名収容の研究室を備えている本格的な博物館だ。

### 史料館の歴史

一九六五（昭和四〇）年、学園創立五〇周年にあたり「成蹊学園史刊行会」が発足、八年後の七三年、『成蹊学園六十年史』が刊行された。

このとき編纂の過程で収集された多くの資料は、そのまま大学図書館に引き継がれた。しかし、特に学園の歴史を担当する部署も企画もなく、資料は「死蔵」された状態だったという。

十年を経た八三年、旧制高校の木造図書館であった大学二十一号館に、「中村春二記念室」が設置された。しかしここにも専任職員がいるわけではなく、活動も記念日などに小さな展示を行なう程度であり、また木造建築のため、レプリカしか展示できないという弱点もあった。

記念室開設から五年後の八八年四月、現「史料館」が竣工した。他大学には類を見ない、立派な専用施設である。当初は「中村春二記念室」「学園史展示室」の二室をもって開館した。八八年という早い時期に、現在でも私学屈指のこの施設は、当時の理事長の強いリードで、短期間に実現した。

九〇年（平成二）には、内壁に檜材を使い、鉛板と断熱材の四層構造を持つ耐火構造の収蔵庫が完成。二〇〇四年には、総務部広報課の一施設から、学園直轄の施設として組織的に独立を果たし、〇五年には東京都から「博物館相当施設」の指定を受け、学芸員課程の実習も受け入れるようになった。

### 史料館の組織と仕事

史料館は現在学園直轄で、学校法人成蹊学園専務理事が館長を務める。業務の管理は「成蹊学園史料館運営委員会」が当たるが、これは「成蹊学園一〇〇年史編集委

員会」を兼ねている。委員は各校および事務局から選出された六名からなり、これにオブザーバーとして卒業生（研究者）三名も加わる。

実務は総務部広報課が管理・執行している。しかし広報課五名（うち学芸員有資格者二名）の中で、日常的に史料館業務に携われるのは今のところ課長と学芸員一名で、資料収集整理等の現場実務の多くは、史学専攻の若手研究者である研究員一名、調査員五名（それぞれ週二日勤務）によって担われている。

五、六年ほど前には三年分の未整理資料が溜まっていたが、〇四年一年でなんと六年分の整理を済ませるなど、近年精力的に資料整理を進めている。

収集も、「各部署の資料整理を助ける」姿勢で、調査員などが現場に赴いて、現課で整理・目録化したり、廃棄のアドヴァイスをしたりしているという。

基本的に史料館として所有する資料は、設置申請関係、写真関係、他大学の年史などであるとのこと。そのように制限していても、年間収集資料は二〇〇〇点を越え、現時点での所蔵資料は二万点以上にのぼるといふ。

史料館ではそれら豊富な所蔵史料を使って適宜さまざまな企画展示を実施し、年間二三〇〇名以上の来館者を受け入れている。私学の学校史展示施設としては、屈指の存在である。

【成蹊学園史料館】

所在地：武蔵野市吉祥寺北町三―三―一

電話：〇四二二（三七） 三九九四

開館日時：月曜日～金曜日 九：三〇～一六：三〇

土曜日 九：三〇～一：三〇

閉館日：日曜日・祝日・学園の定める休業日

施設：地上二階

延床面積 一一七九・九二㎡

展示スペース 五六七・六七㎡

史料庫 一四三・〇五㎡

研修室 八三・五八㎡

研究員室 七二・〇〇㎡

事務室 七九・九〇㎡

合計 九四六・二〇㎡

展示室：中村春二記念室

池袋時代の各校を中心とした展示室一

吉祥寺移転後の各校を中心とした展示室二

大正自由教育を中心とした展示室三

